

授業概要

～使える韓国語～

韓国語Ⅱでは、韓国語を通じて異文化経験ができ、韓国社会についての知識や理解が一層深まることを目的とし、初級の授業で習得した基礎的知識を広げ、韓国社会において必要なコミュニケーション能力の向上を目指す。基本的には「韓国語Ⅰ」を履修した学生を対象とし、やさしい中級レベルの韓国語を学ぶ。言語活動は学生のレベルに合わせ、韓国関連の事項、韓国学生の大学生活、書物、ドラマ、映画、音楽など、文化に触れながらリスニング、読解を同時に行っていく。さらに、在学中の留学や卒業後、韓国係会社の就職を考える学生のためにも韓国語能力試験2～3級を目指したいと考えている。

授業計画

第1回	授業の進め方、評価法の概略、初級の復習 韓国語と日本語の相違—「インターネットの検索及びハングル入力方法」	
第2回	自己紹介・インタビューをする—「相手の職業・趣味などを聴く」	
第3回	世界の天気を説明する。	
第4回	場所と物の説明—指示代名詞「これ、それ、あれ」	
第5回	動詞・形容詞の「ㄹ체～ます形の作り方」①	*リスニング・文化体験①(20分)
第6回	動詞・形容詞の「니다体～ます形の作り方」②	*リスニング・文化体験②(20分)
第7回	存在の有無を表す表現「ある・いる」	*リスニング・文化体験③(20分)
第8回	道を聞く—「場所の説明」	*リスニング・文化体験④(20分)
第9回	電車の乗り換え—「丁寧な命令形～てください」	*リスニング・文化体験④(20分)
第10回	買い物—「お金の数え方」	*リスニング・文化体験⑤(20分)
第11回	大学生活—「1日の出来事」	*リスニング・文化体験⑥(20分)
第12回	週末の出来事—「過去形」	*リスニング・文化体験⑥(20分)
第13回	約束を決める—「好きな曜日・時間など」	*リスニング・文化体験⑦(20分)
第14回	歴史・映画①『タクシー運転手』 「前半—1980年の韓国光州民主化運動について」	
第15回	歴史・映画②『タクシー運転手』 「後半—思考力の大切さを考える」・まとめ	
第16回	試験	

到達目標

1. 接続語尾の活用を自由に使い、文をつなげることができる。
2. 韓国語・韓国文化を通して、他者への理解を深めコミュニケーション能力を高める。
3. 学生に韓国語スピーチ大会参加や韓国語能力試験2～3級を目指せる。

履修上の注意

1. 外国語の授業なので、ペアで行う活動など授業への積極的な参加が求められる。
2. 「韓国語Ⅰ」の履修者が望ましい。
3. 履修した場合は、韓国語能力試験2～3級が受けられるレベルになる。

予習復習

1. 予習については、毎回、提示されるテキストを読んでくること。
2. 復習については、毎回、提示される課題をやってくること。

評価方法

平常点(50点—授業の参加度・小テスト・課題・会話演習・発表)、試験(50点)を予定している。

テキスト

主にプリント教材を配布する。より興味のある学生は下記のテキストを参考にすること。
*参考書—金順玉・阪堂千津子・崔栄美著『ちよこっとチャレンジ韓国語』白水社(CD付)(2,592円)